

講義名	キャリア実践論（3年生用）				授業形態	
担当教員	小幡 祐可子	開講期・曜日・時間		後期 木曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング

主題と概要
大学生は、就職という社会への入口に不安を抱いている。学生は多種多様なスキルを評価する就職試験にも戸惑いがある。就活はスタートラインである「何のために働くのか」という働くことの意義を自覚し、その上で社会・企業が求めている社会人基礎力を中心とした知識と能力を自ら磨いていくことが大切である。就活は3年生の後期から準備が始まり、4年生の前期まで続く（未決定の場合は卒業まで続くこともある）。就活対象者は自分の強みや長所を再認識し、志望理由を明確化させる必要がある。また企業が期待する求める人材像やコンピテンシーを理解し、自己成長の目標に挑戦していくことが重要となる。授業概要は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）。また、働くことの意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開する。
到達目標

この科目の到達目標は、「なぜ働くのか?」「あなたの強みは何か?」「あなたにとってよい会社の条件とは何か?」の問いに、しっかりとした考え方を身につけることであり、その上で自己PRの作成方法と会社選びの基準づくりを学び、総合的な就職力を高めていくことができるようになることである。 具体的には以下の4点を到達目標とする。 ・SPI等の筆記試験対策で得意、不得意な分野を自己評価することができるようになる。 ・自分の強さ・弱さの分析から自己PRをまとめることができるようになる。 ・業界企業を分析し、自己PRと志望動機につなげていくことができるようになる。 ・就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を策定することができるようになる。
提出課題

毎回の授業後にリフレクションシート（ミニレポート）を提出する。（計15回） 期末に課題レポートを提出する。
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

リフレクションシートを提出をした翌回の授業冒頭において、必要かつ可能な範囲でフィードバックを行う。
評価の基準

①平常点(リフレクションシート (60%) 毎回の授業後にリフレクションシートを提出する。 リフレクションシートの未提出が5回以上の場合は、平常点がゼロ点となる。 ②基礎能力テスト(SPI (10%) ③期末レポート (20%) ④受講態度 (10%) ※評価の詳細は、添付の「成績評価・ルーブリック」を参照すること。
履修にあたっての注意・助言他

水曜日2限の「キャリア実践論」も同じ名称の授業ですが、対象は4年生ですので、3年生は木曜日2限の「キャリア実践論」を履修してください。 対面授業では、可能な限りグループワークを行いますので、積極的に参加してください。 マナーを重視しますので、挨拶や言葉遣い、レポートの期限を守る等を意識して受講するようにしてください。
教科書

.使用しない。					
参考図書					

その他
プリント資料及び参考文献に関しては、使用する際に適宜配布、紹介する。
授業計画

回数と授業計画
1 オリエンテーション キャリア実践論について 2 就職活動について①～就職環境の現状と課題を考える～ 3 就職活動について②～現代社会と未来社会を考える～ 4 業界・企業研究①～世の中の業界ついて学ぶ～ 5 業界・企業研究②～志望する業界・企業を考える～ 6 社会で求められる基礎力とは？ 7 筆記試験対策①～SPIにチャレンジしよう～ 8 筆記試験対策②～SPIにチャレンジしよう～ 9 自己分析①～自分を知る～ 10 自己分析②～自分の価値観と社会を結ぶ～ 11 履歴書・エントリーシートについて 12 面接対策①～グループディスカッション～ 13 面接対策②～集団・個人面接～ 14 就職活動の戦略の立て方 15 まとめ
授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○ウ：ディスカッション、ディベート	○エ：グループワーク
○オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
1. 授業に関連する本や新聞記事や雑誌を読んだり、ニュースをチェックしたりする習慣を日常的に付け、特にキャリア・就職・労働・雇用・ビジネスなどといったキーワードには注目するようにしておく（毎回2時間） 2. 授業で学んだことの復習や実践を行う（毎回1時間） 3. 基礎能力試験（SPI適性検査）対策を行う（毎回1時間）
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は、自分の強み・弱みを知ること（自己PR）と働くことの意義（価値観）、自分にとって良い会社の定義で志望動機を考えること。さらに、自己アピール力、プレゼンテーション力、会話力（面接・グループディスカッション）を高めるために、実践的な演習を交えて展開することを目的とした授業である。*働く目的と仕事観の醸成、自身の適性と適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行うとともに、就職力を高めるための実践的科目」というキャリア科目のCPとまさに合致していると考える。
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

質問やアンケートをレスポンスで回答することにより受講生同士でシェア出来る環境を作る。 状況により、Microsoft Teamsのチャットやファイル共有を活用して、双方向授業を実施する場合もある。
実務経験の有無及び活用

実務経験あり キャリアコンサルタントの国家資格を有し、企業研修、人材育成に携わる。 また、アパレル業、ブライダル業での実務経験がある他、フリーアナウンサーとして活動をしている。 これらの経験を生かして、大学での学びや経験がどのように社会で役に立つかを事例を交えて解説を行う。
備考

新型コロナウイルス感染症の状況によって、シラバスを修正することがあります。
